

**山口県**

- 山口県の卸売、小売事業所数は下関市に多く、  
年間商品販売額は卸売業で山口市、小売業で下関市が多い -

山口県の事業所数をみると、卸売事業所が最も多いのは下関市で、次いで、山口市、周南市の順となっています。小売商店では下関市、山口市、宇部市の順となっています。年間商品販売額をみると卸売業では1位が山口市、次いで、下関市、宇部市、周南市の順、小売業では下関市、山口市、宇部市、周南市の順となっています。

小売商店の立地をみると住宅地区が最も多く、次いで、商業集積地区となっています。また、商業集積地区の内訳では市街地型の割合が最も高くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

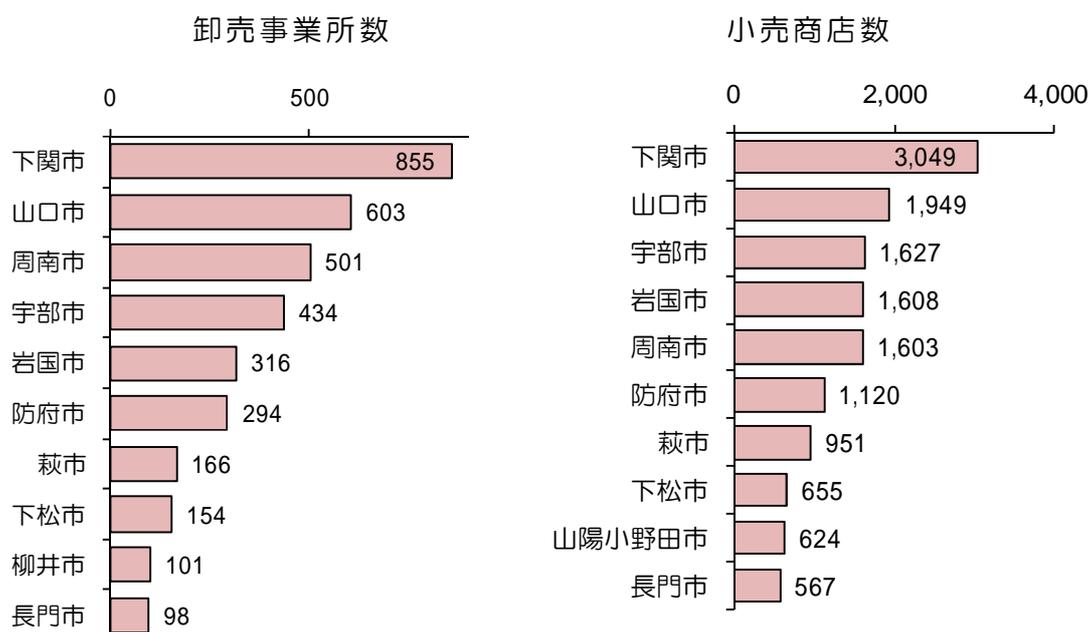
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
山口県計	20,010	26	128,471	25	3,548,663	27	
業 種 別	卸売業計	3,864	27	31,152	28	2,063,072	28
	各種商品卸売業	14	28	175	22	8,022	26
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	9	35	26	44	753	43
	衣服・身の回り品卸売業	71	41	348	43	11,560	38
	農畜産物・水産物卸売業	564	25	5,090	26	316,249	32
	食料・飲料卸売業	514	29	4,677	31	334,716	26
	建築材料卸売業	519	25	3,626	26	180,455	31
	化学製品卸売業	185	21	1,295	21	100,716	22
	鉱物・金属材料卸売業	184	23	1,708	25	257,250	25
	再生資源卸売業	147	19	1,007	20	116,472	8
	一般機械器具卸売業	343	27	2,485	29	122,134	30
	自動車卸売業	271	23	2,544	25	152,940	21
	電気機械器具卸売業	215	24	1,610	28	102,796	31
	その他の機械器具卸売業	138	21	1,118	24	48,369	31
	家具・建具・じゅう器等卸売業	133	33	742	35	21,688	36
	医薬品・化粧品等卸売業	206	28	2,128	28	182,729	23
	他に分類されない卸売業	351	33	2,573	32	106,225	40
	小売業計	16,146	26	97,319	25	1,485,591	25
	各種商品小売業	118	13	7,523	27	158,740	24
	織物・衣服・身の回り品小売業	1,916	31	6,838	29	82,758	32
	飲食料品小売業	5,585	27	37,856	26	438,275	27
	自動車・自転車小売業	1,270	25	7,901	23	189,170	24
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,558	25	7,455	20	155,065	21
	その他の小売業	5,699	25	29,746	26	461,582	27
	医薬品・化粧品小売業	1,359	21	6,516	21	108,494	20
	農耕用品小売業	209	29	1,109	25	23,717	25
	燃料小売業	899	29	5,429	28	184,462	27
書籍・文房具小売業	737	21	7,709	25	43,121	26	
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	414	23	1,939	24	26,860	24	
写真機・写真材料小売業	43	28	134	34	1,211	35	
時計・眼鏡・光学機械小売業	273	26	896	26	9,618	25	
他に分類されない小売業	1,765	27	6,014	35	64,100	37	

## 2. 市町村別の状況

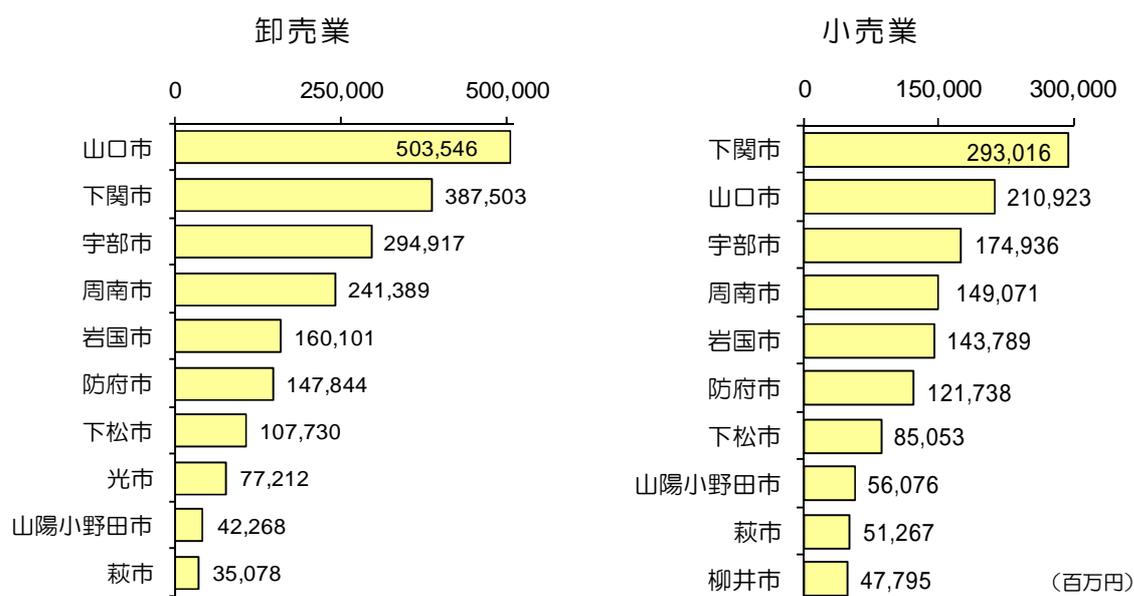
山口県の事業所数をみると、卸売事業所では下関市が最も高く22.1%を占めており、次いで、山口市、周南市の順となっています。小売商店では下関市が18.9%と最も高く、次いで、山口市、宇部市の順となっています。

年間商品販売額をみると卸売業では山口市、次いで、下関市、宇部市、周南市の順、小売業では下関市、山口市、宇部市、周南市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

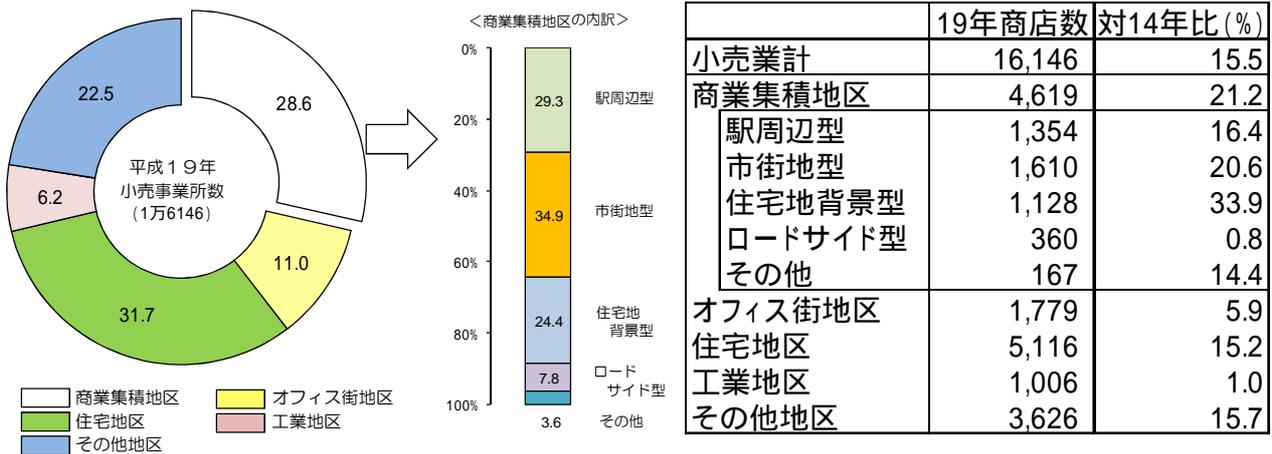


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



### 3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、住宅地区の割合が31.7%と最も高く、次いで、商業集積地区となっています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が34.9%と最も高くなっています。



### 4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「生鮮魚介」、「他の食料・飲料」などの食料関連が上位に入っています。

【販売上位10品目】(平成19年)

